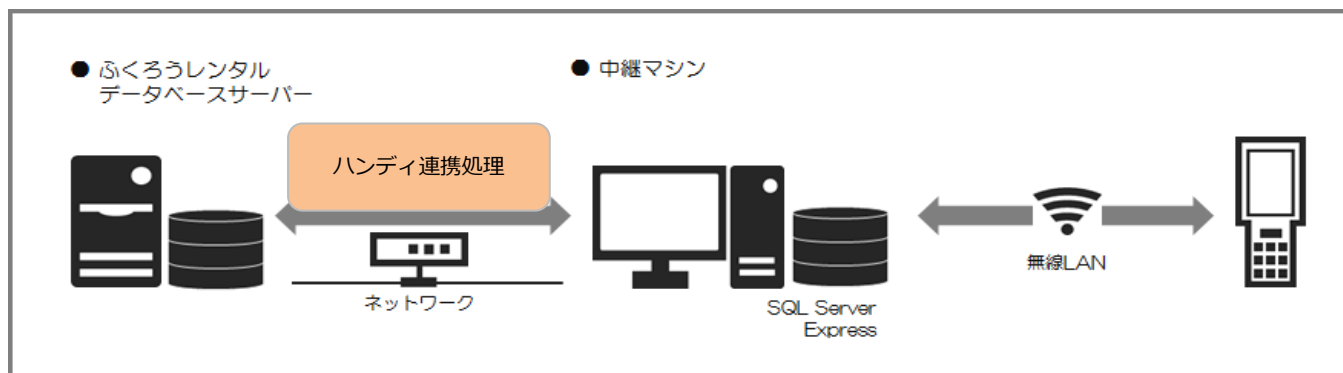


ふくろうハンディオプション（PC側操作）

処理概要

下記はハンディ連携オプションを利用する際の構成です。



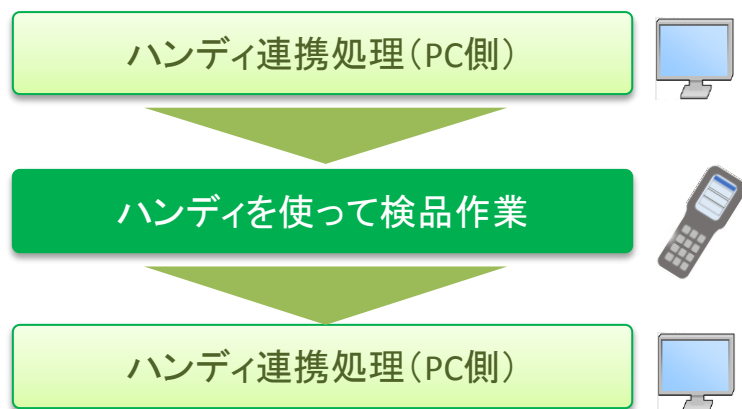
※ ハンディの操作については「14. 1. ふくろうハンディオプション（ハンディ操作）」のマニュアルを参照してください。

ハンディとデータベースサーバとの連携は、中継マシンで実行するハンディ連携処理で行います。

ハンディで処理を行う前後にハンディ連携処理を必ず実行してください。

※ハンディでの作業に必要な情報はハンディ連携処理でデータベースから取得します。

※ハンディで処理を行っても、ハンディ連携処理を実行しなければデータベースに反映されません。



ハンディを使ってできる処理は4つあります。

出荷検品 売上入力で登録した内容を元に、商品のバーコードをスキャンし出荷検品を行います。処理を行ったあとは、売上傳票に「検品済」フラグが立ちます。（在庫は売上傳票作成時に減少しています）

返却 返却された商品のバーコードをスキャンします。スキャン後、ハンディ連携処理を実行すると返却データが作成され、在庫が増加します。

入荷 入荷商品のバーコードをスキャンします。スキャン後、ハンディ連携処理を実行すると仕入伝票が作成され、在庫が増加します。仕入伝票の単価などを入荷作業後に仕入入力で確認してください。

棚卸 在庫品のバーコードをスキャンします。スキャン後、ハンディ連携処理を実行すると、現在の貸出数+検品数で在庫調整を行います。